

東日本大震災から10年、 コロナ禍でのGIS 活用事例紹介

福島県会津若松市役所

統合GIS活用検討チーム

秘書広聴課 広報広聴グループ

兼 新型コロナウイルス感染症対策室

総務省地域情報化アドバイザー

伊藤 文徳

←会津侍 若松つつん

bun@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp



東日本大震災から10年、 コロナ禍でのGIS 活用事例紹介

1. 東日本大震災の発生と導入背景
2. 活用事例の紹介
3. パーナルデータからオープンデータへ
4. 10年後、コロナ対応での活用

自己紹介

m(_ _)m

経歴

- 平成7年4月 入庁 総務部総務課電算処理係
- その後 機構改革 総務部情報政策課
 - 10年間 汎用機PG作成業務 →民間に委託
- 平成17年4月 水道部総務課
 - 5年間 給与担当・契約担当(総務関係)
- 平成22年4月 市民部市民課
 - 8年間
 - 電算、電話、窓口、クレーム対応
 - コンビニ交付サービス担当 平成23年2月から開始
 - 統合GIS担当(統合GIS活用推進チーム座長) 平成25年11月から
 - ゆびナビ担当 平成26年3月から開始
- 平成30年4月 企画政策部企画調整課庁舎整備室
 - 新庁舎整備にかかる、窓口サービスの計画の策定業務
- 平成31年4月 企画政策部秘書広聴課
 - HP担当 SNS担当
- 令和3年5月 企画政策部秘書広聴課 兼 新型コロナウイルス感染症対策室
 - システム関係担当

経歴

- 平成7年4月 入庁 総務部総務課電算処理係
- その後 機構改革 総務部情報政策課
 - 10年間 汎用機PG作成業務 →民間に委託
- 平成17年4月 水道部総務課
 - 5年間 給与担当・契約担当(総務関係)
- 平成22年4月 市民部市民課
 - 8年間
 - 電算、電話、窓口、クレーム対応
 - コンビニ交付サービス担当 平成23年2月から開始
 - 統合GIS担当(統合GIS活用推進チーム座長) 平成25年11月から
 - ゆびナビ担当 平成26年3月から開始
- 平成30年4月 企画政策部企画調整課庁舎整備室
 - 新庁舎整備にかかる、窓口サービスの計画の策定業務
- 平成31年4月 企画政策部秘書広聴課
 - HP担当 SNS担当
- 令和3年5月 企画政策部秘書広聴課 兼 新型コロナウイルス感染症対策室
 - ワクチン受付システム関係担当

東日本大震災から10年、 コロナ禍でのGIS 活用事例紹介

1. 東日本大震災の発生と導入背景
2. 活用事例の紹介
3. パーナルデータからオープンデータへ
4. 10年後、コロナ対応での活用



1_震災直後、断水したため水道部（現上下水道局）の給水車が出勤しました 2_流通が止まりガソリンが不足しました。市内のガソリンスタンドには長蛇の列ができていました 3_震災直後の避難所の様子。市民の皆さんが一時避難しました 4_避難所では連日、ボランティアや市の職員による炊き出しが行われました（あいづ総合体育館で） 5_全国から応援メッセージが寄せられました 6_多くの有名人が避難所を訪れ、励ましてくれました（平成23年4月撮影、市政だより平成23年5月1日号に掲載） 7_避難所では多くの人が生活していました（ふれあい体育館で） 8_東山温泉が大熊町の皆さんの二次避難所になりました。大熊町の皆さんを迎える菅家一郎前市長

東日本大震災が発生

平成23年3月11日午後2時46分

あれから10年

鮮明によみがえる

決して忘れない記憶

東日本大震災は、雪がチラついていたあの日の昼下がり突然起こりました。道路は波打ち、建物は大きく揺れ、みんなが必死に屋外へ避難しました。起きた出来事の大きさを受け入れられず、呆然と立ち尽くす人や、携帯電話が一時的に繋がらなくなり家族の安否を心配する人、寒さに震えながら余震におびえる人の姿で、まちはあふれていました。

あれから10年たった今でも、当時の様子は鮮明に思い出されます。写真は、被災直後の会津図書館。地震の大きさを物語っています。

自分には何ができるのか？

市民課窓口

住民基本台帳システム担当

コンビニ交付システム担当

**住民基本台帳カードにより
コンビニでようやく
住民票の写しが発行可能！！**

自分には何ができるのか？

住民基本台帳 (ひと)

×

地理空間情報 (場所)

住民基本台帳とは？

第1号様式(第2条関係)

住民票

福島県会津若松市										
氏 名										
性 別		生 年 月 日		続 柄		住民となった年月日				
世 帯 主										
住 所						異 動 年 月 日			届 出 年 月 日	
前 住 所										
転 出										
本 籍								筆 頭 者		
備 考									消 除 事 由	

国民 健康 保険	記号番号	資格取得	資格喪失	事由
	備考			
	退職 保険	資格取得	資格喪失	区分

後期 高齢	被保険者番号	資格取得	資格喪失	事由

国 民 年 金			
	資格取得	資格喪失	種別
	備考		

介 護	資格取得	資格喪失	種別

選 挙		
児 手 当	支給開始	支給終了

年 金 受 給 者	記号	番号
	受	

住民基本台帳とは？

第1号様式(第2条関係)

住民票

福島県会津若松市	
氏名	住民基本台帳は、 氏名、生年月日、性別、住所などが記載された 住民票を編成したもので、住民の方々に関する事務処理の基礎となるものです。 住民基本台帳の閲覧や住民票の写しの交付などにより、住民の方々の居住関係を公証するとともに、以下に掲げる事務処理のために利用されています。 選挙人名簿への登録 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認 児童手当の受給資格の確認 学齢簿の作成 生活保護及び予防接種に関する事務 印鑑登録に関する事務
性別	
世帯主	
住所	
前住所	
転出	
本籍	
備考	
国民健康保険	
後期高齢	

総務省HPより

導入背景

- 東日本大震災や南会津の水害を教訓とした
 - 災害弱者といわれる「要援護者の支援体制構築」
- 災害に特化した情報システム
 - 平時における職員の訓練や運用体制が課題
- 平時にいかに便利に利用するかが重要
 - 職員が活用することによる「気づき」
- 統合GISの地図情報更新
 - 結局、地図(データ)が更新されないと使わない



住民基本台帳と連動した統合GISの導入

**住民基本台帳に
位置情報をつけ
市民を守る**

導入背景と構築への道のり

- 平成23年6月30日 新潟で地方公共団体地域情報化推進フェア2011
住民情報（WideGV）とGIS（地図情報システム）を連携して視覚的に住民情報を把握
の事例デモ
- 平成23年 8月25日 関係各課向けにデモを実施→市民課より通知
- 平成23年10月28日 第1回統合型GIS関係各課会議→市民課より提案
- 平成23年11月 1日 行政評価案件提出（企画副参事会議）
- 平成23年11月 1日 地方自治体情報化推進フェア2011へ情報収集
- 平成23年11月 2日 //
- 平成23年11月11日 第2回統合型GIS関係各課会議
- 平成23年11月18日 「汗動・協働・創造」枠 予算要求
「災害支援システム事業（統合型GIS（地図情報システム）構築）」二役へデモ
- 平成23年11月25日 統合GIS導入へ庁内情報化推進会議に提出
- 平成24年 1月23日 平成24年度当初予算市長説明



市民課より事業提案したが、予算つかず。。。

導入背景と構築への道のり

二役&職員に「統合GIS」導入の必要性



市民課→防災安全課主体に

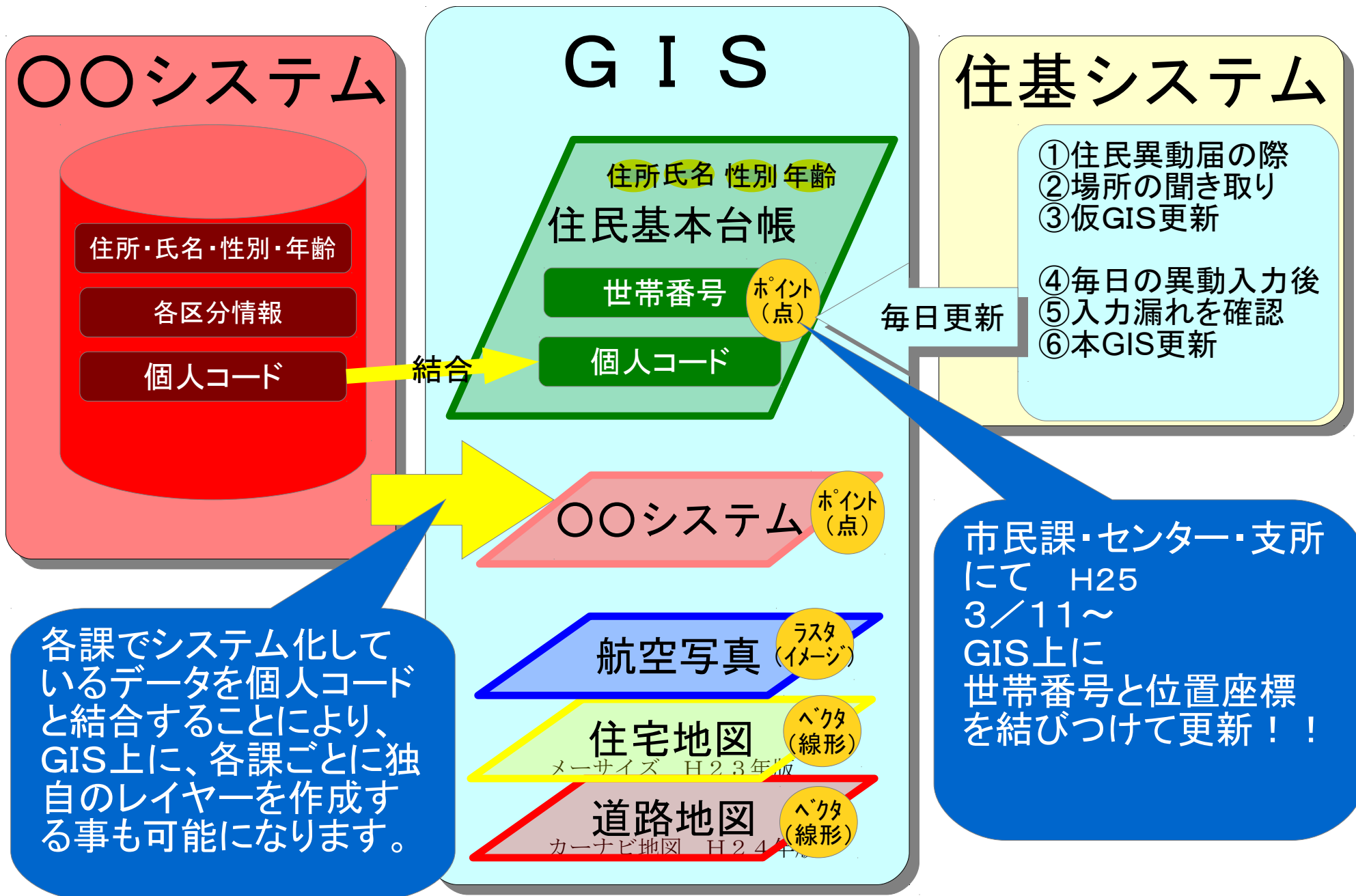


国（総務省）の補助制度を活用



H25. 3. 11～「統合GIS」稼動スタート

システム概要図



**会津若松市の住民基本台帳は
ポイント（点）化され
日々更新しています。**



窓口で異動場所について聞き取り

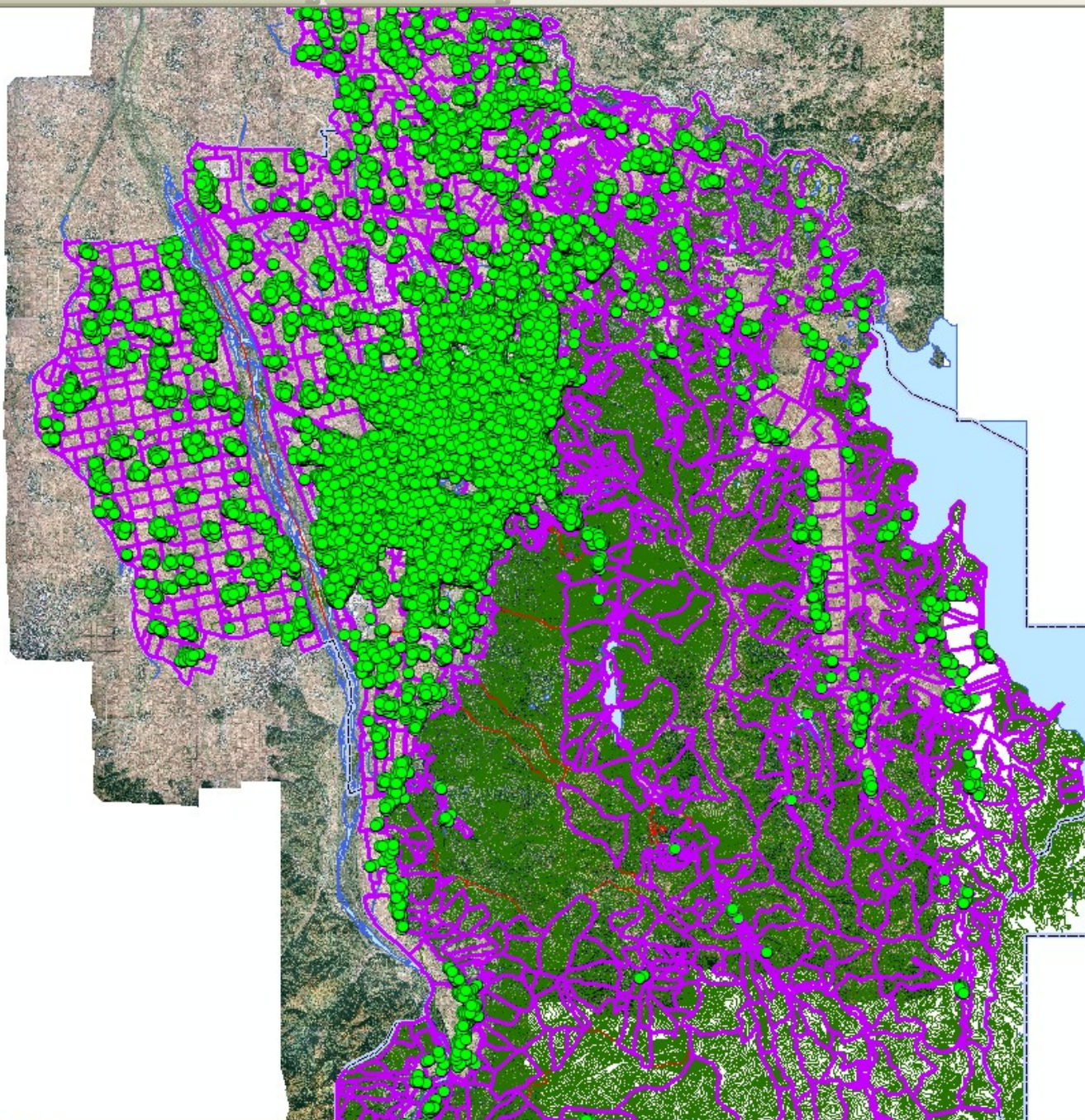


窓口で異動場所



毎夕方、住基データの更新をGISへ反映

- ☒ 住民ポイント
- ☐ 住民データ
- ☐ 民生員エリア図
- ☐ 町内会エリア図
- ☐ 学校教育課
- ☐ 選挙管理委員会
- ☒ 共通
 - ☐ 公共施設_公開
 - ☒ 行政区画エリア
- ☐ 統計データ_H17国勢調査
- ☐ 都市計画課
- ☐ 道路維持課
 - ☐ 市道路線網図
- ☐ 国土数値情報
- ☒ ベースマップ
 - ☒ 住宅地図
 - ☐ BDM住宅地図_モノクロ
 - ☒ BDM住宅地図
 - ☐ iPC道路地図
 - ☐ OpenStreetMap
 - ☐ 基盤地図情報
 - ☒ 航空写真(H22撮影)
 - RGB
 - ☒ Red: Band_1
 - ☒ Green: Band_2
 - ☒ Blue: Band_3
- ☐ 都市計画図







東日本大震災を きっかけに誕生した 会津若松市統合GISのその後

1. 東日本大震災の発生と導入背景
2. 活用事例の紹介
3. パーナルデータからオープンデータへ
4. 10年後、コロナ対応での活用

浸水想定区域

想定最大規模雨量への対応



旧 浸水想定区域図（48時間総雨量236mm）

2.0m以上

住民データ

該当者13人

該当町内会 3

無題 - ArcMap

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ブックマーク(B) 挿入(I)

1:60,000

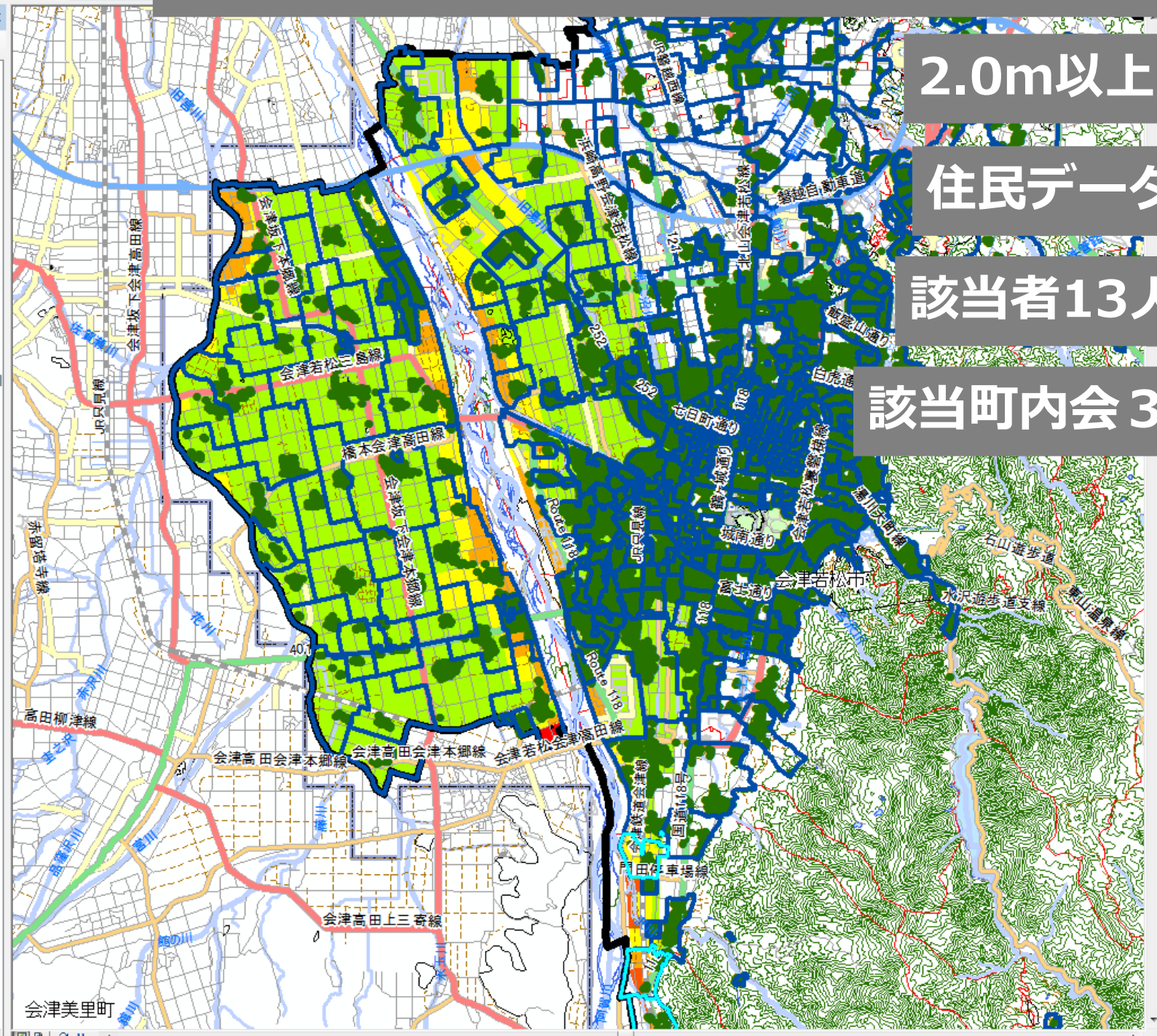
コンテンツ

マップレイヤ

- ☒ 町内会エリア図
- ☒ 住民_会津若松市
- ☒ 市区町村界
- ☒ OpenStreetMap
- ☒ 洪水ハザードマップ
- 浸水深区分
 - 0~0.5m
 - 0.5~1.0m
 - 1.0~2.0m
 - 2.0~5.0m
 - 5.0m以上
- ☐ 阿賀川+日橋川浸水想定+湯川
- <その他の値すべて>
- 浸水深ランク会津若松
 - 0-50cm
 - 50cm-1m
 - 1-2m
 - 2-5m
 - 5m以上
- ☒ ベースマップ

会津美里町

選択されたフィーチャ数: 3



新 浸水想定区域図 (48時間総雨量533mm)

2.0m以上

住民データ

該当者15,028人

該当町内会104

無題 - ArcMap

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ブックマーク(B) 挿入(I)

1:60,000

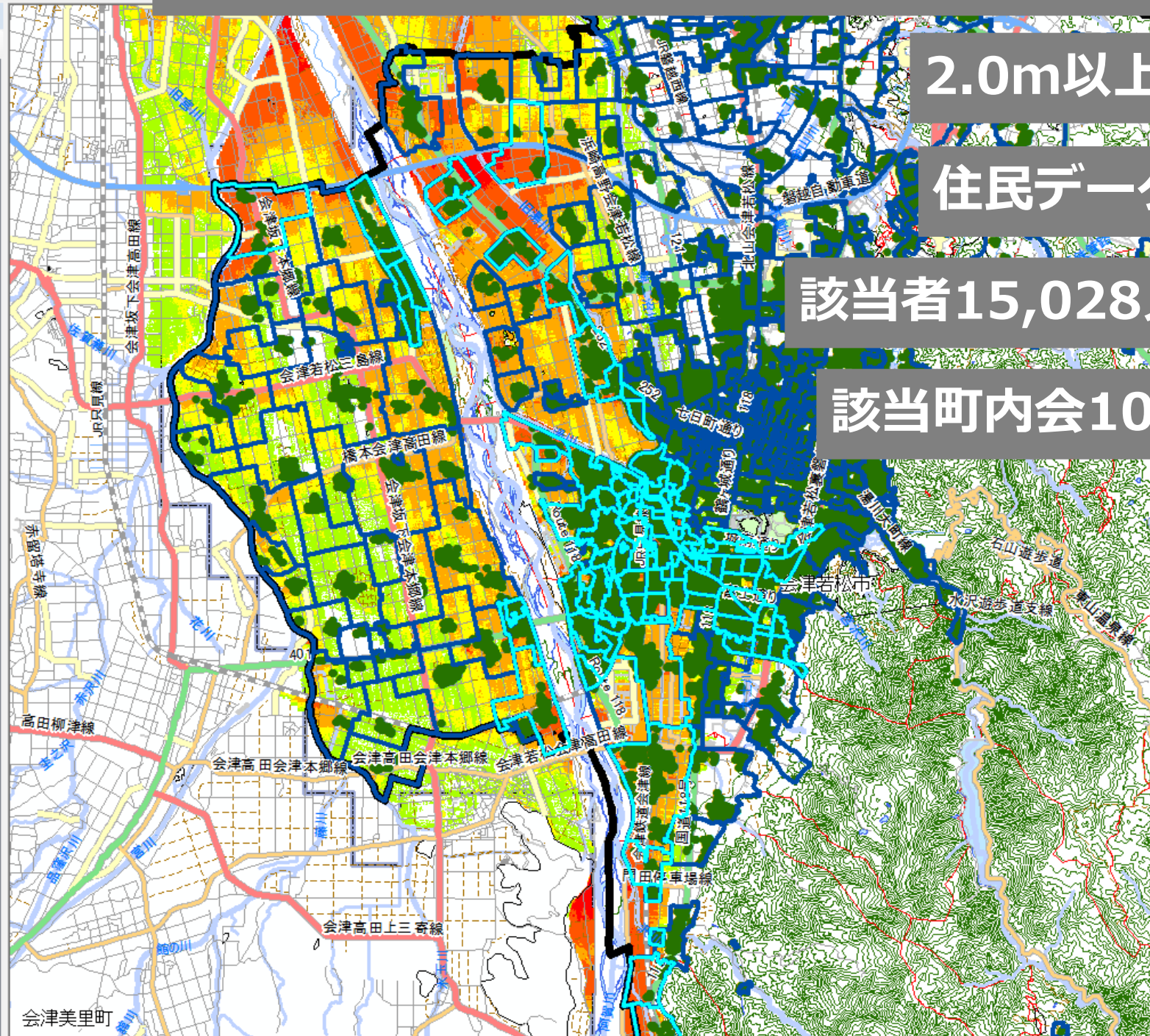
コンテンツ

マップレイヤ

- ☒ 町内会エリア図
- ☒ 住民_会津若松市
- ☒ 市区町村界
- ☒ OpenStreetMap
- ☐ 洪水ハザードマップ
- 浸水深区分
 - 0~0.5m
 - 0.5~1.0m
 - 1.0~2.0m
 - 2.0~5.0m
 - 5.0m以上
- ☒ 阿賀川+日橋川浸水想定+湧
- <その他の値すべて>
- 浸水深ランク会津若松
 - 0-50cm
 - 50cm-1m
 - 1-2m
 - 2-5m
 - 5m以上
- ☒ ベースマップ

会津美里町

選択されたフィーチャ数: 104



会津若松市における データ活用と地域連携による交通施策の取組

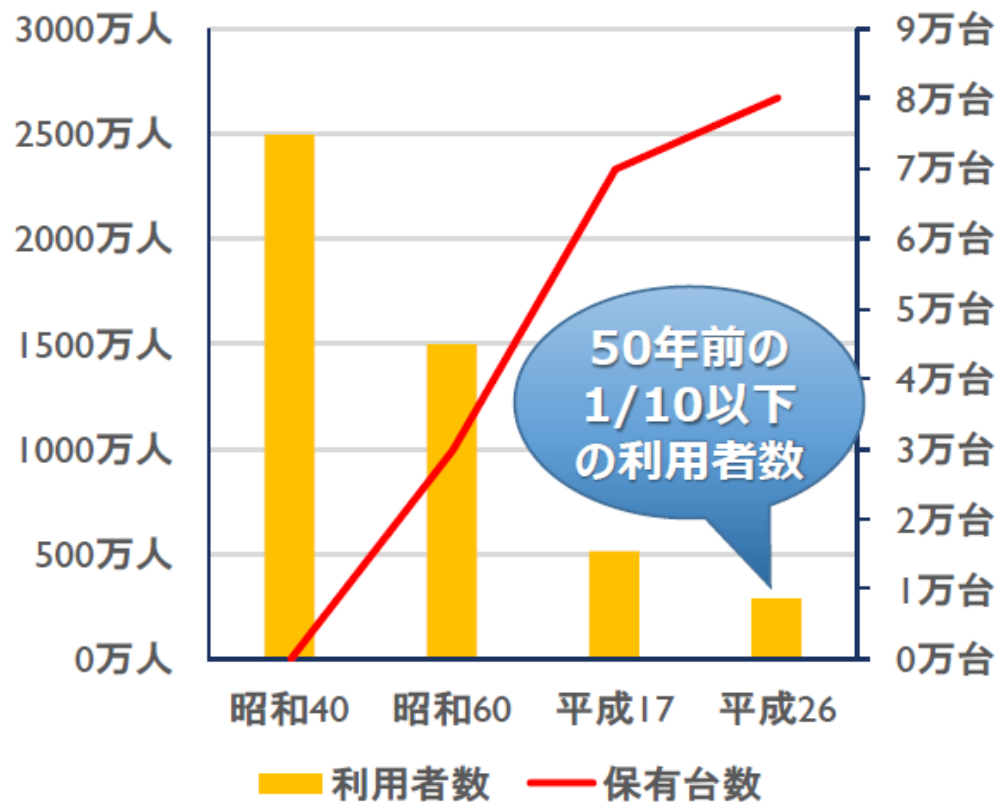
会津若松市における公共交通の現状と課題

地域との連携・協働によるバスづくり
の必要性と取り組みのポイント
～金川町・田園町住民コミュニティバスの取組～

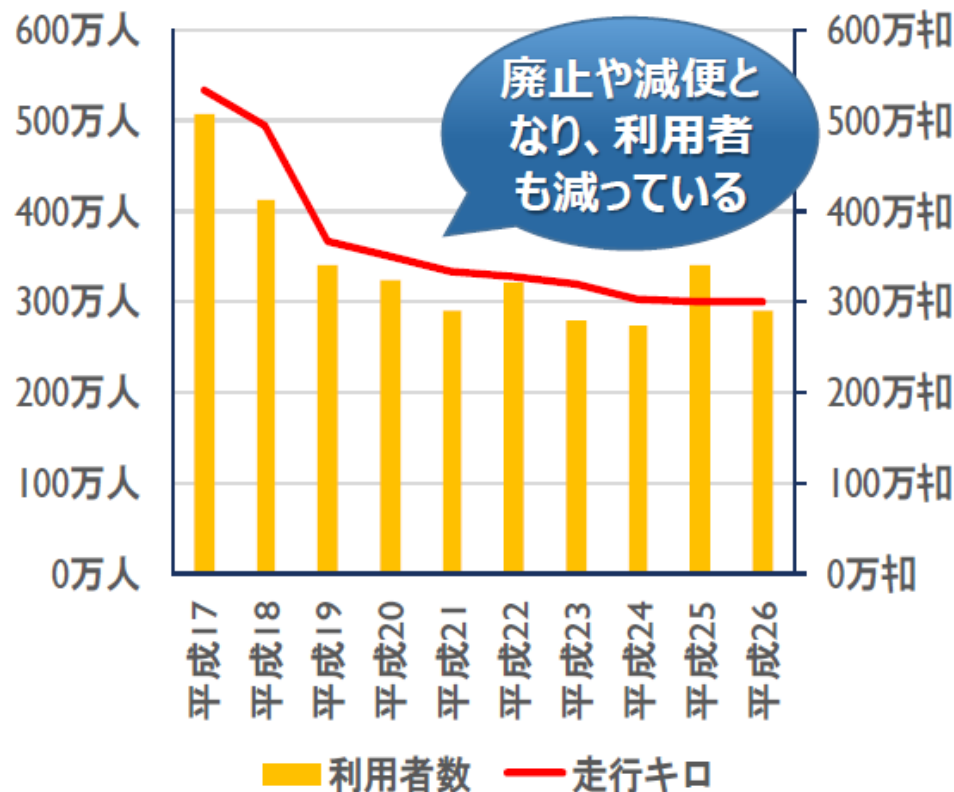
地域との連携・協働によるバスづくりの展開
～地域公共交通網形成計画・再編実施計画策定の取組～

路線バスを取り巻く現状と課題①

会津管内の路線バス利用者数
と自家用車保有台数の推移



会津管内の路線バス利用者数
と走行キロ数の推移



利用者減少の負の連鎖

利用できるバスが少ない
乗り継ぎが不便

↑
サービス低下

利用者の減少

【背景】・高い自家用車依存 ・人口減少

・少子化による通学利用の減少

バス事業者だけで
運行を維持することは困難
市の補助・委託での運行
⇒財政負担の増加

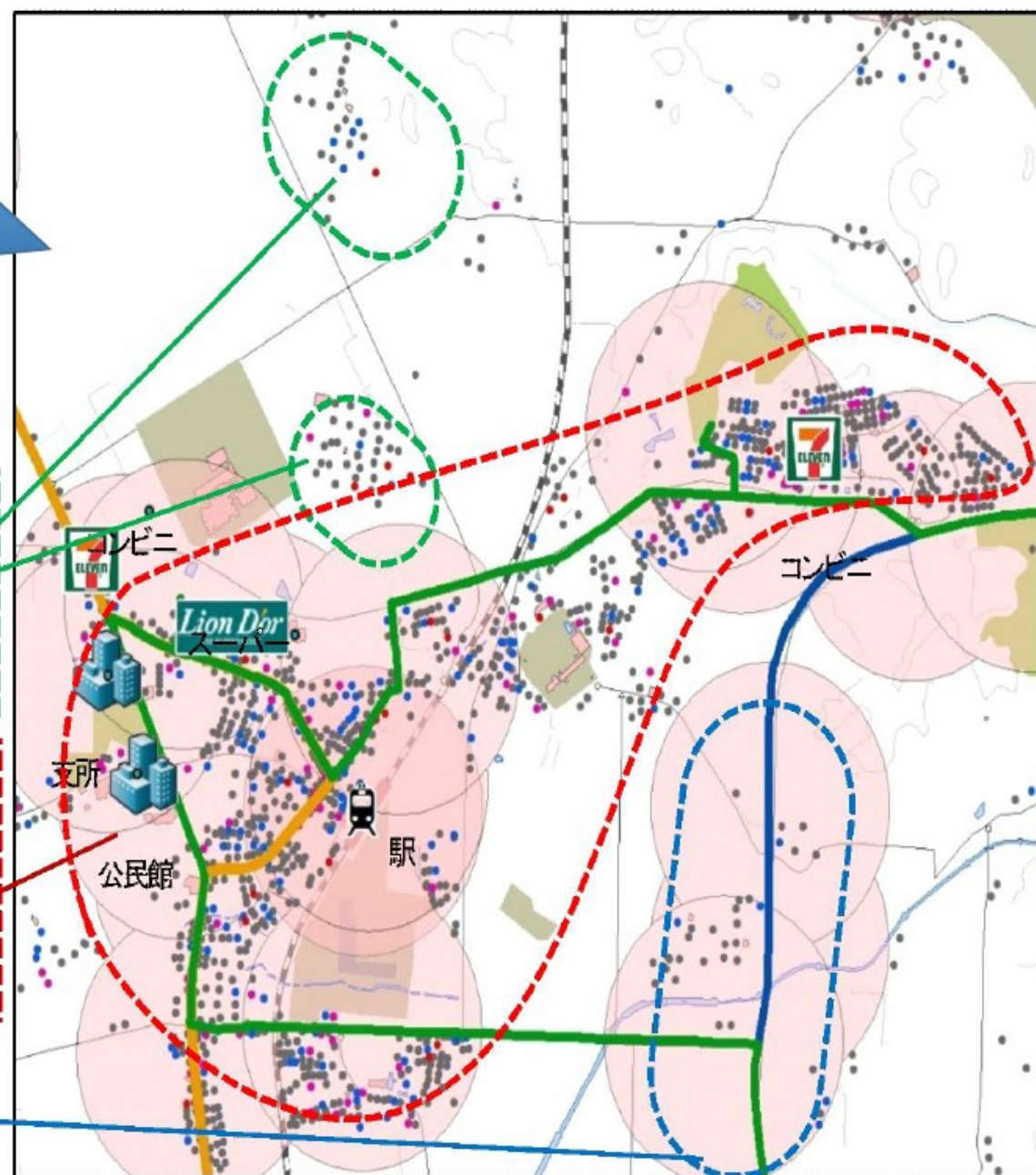
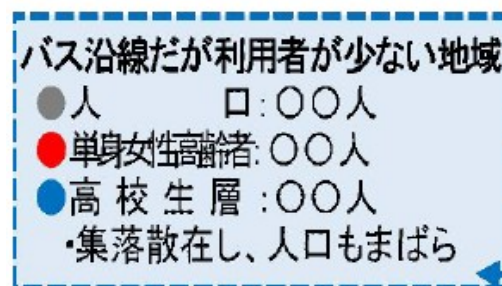
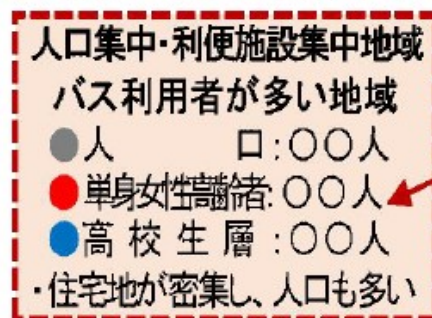
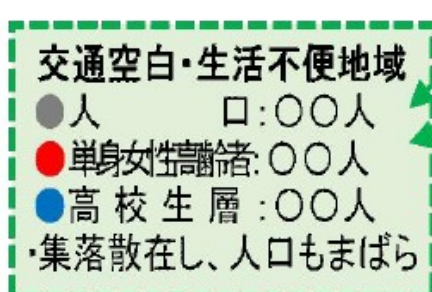
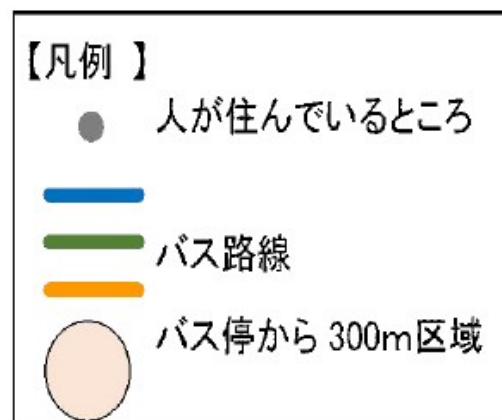
減便
廃止

収支
悪化

負のスパイラルから抜け
出せない
何とかしなければ！

現況や課題を“見える化”し共有することで、運行すべき交通のイメージがしやすくなった（ここには〇〇さんしかいないのだから、バスよりもタクシーの方が良いのでは？）

※市担当職員も、コンサル頼りではない、仮説を持った検討が可能となった



住基と連動したGISシステムを活用

GISを活用した仕事の可能性

対象範囲をできる限り小さくして捉えることで、
地域の人にとって、より身近な課題として捉えてもらえる！
また、解決するための目標が小さくなることで実現への期待感が膨らむ！
⇒地域との連携・協働の重要なポイント

地域づくり課において地域課題に対応する際に大切にしている視点

- ①利用者(ユーザー)目線で考える
- ②より小さな単位(集落単位、町内会単位)で考える
- ③行政・事業者・地域の連携

最後に・・・

地域づくり課は、公共交通チームと地域振興チームで仕事をしています。
現在、データの活用は公共交通チームが主となっていますが、今後は、地域・集落活性化の取り組みについても、データを活用しながら地域との連携・協働の取り組みを進めていきたいと考えておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

東日本大震災から10年、 コロナ禍でのGIS 活用事例紹介

1. 東日本大震災の発生と導入背景
2. 活用事例の紹介
3. パーナルデータからオープンデータへ
4. 10年後、コロナ対応での活用

福島県会津若松市役所では
住民基本台帳の位置情報を活用する
ことで、行政サービスにおける
課題解決のツールとなっています。

こんな便利データを！！

全国の皆さんと享受したい！！

データがある事で街が活性化！？

データがある事で事業が成功する街



市役所内部で活用している
パーソナルデータ

住民基本台帳のポイント（点）

をオープンデータに！？

本市GISの最大の特徴 住民異動の際に市民の方から、場所を聞き取りし、住民ポイントデータを毎日更新

ただし、このポイントデータをオープンデータとして公開してしまうと、個人の場所が特定されてしまうおそれがある。（個人情報ではないが、、、）

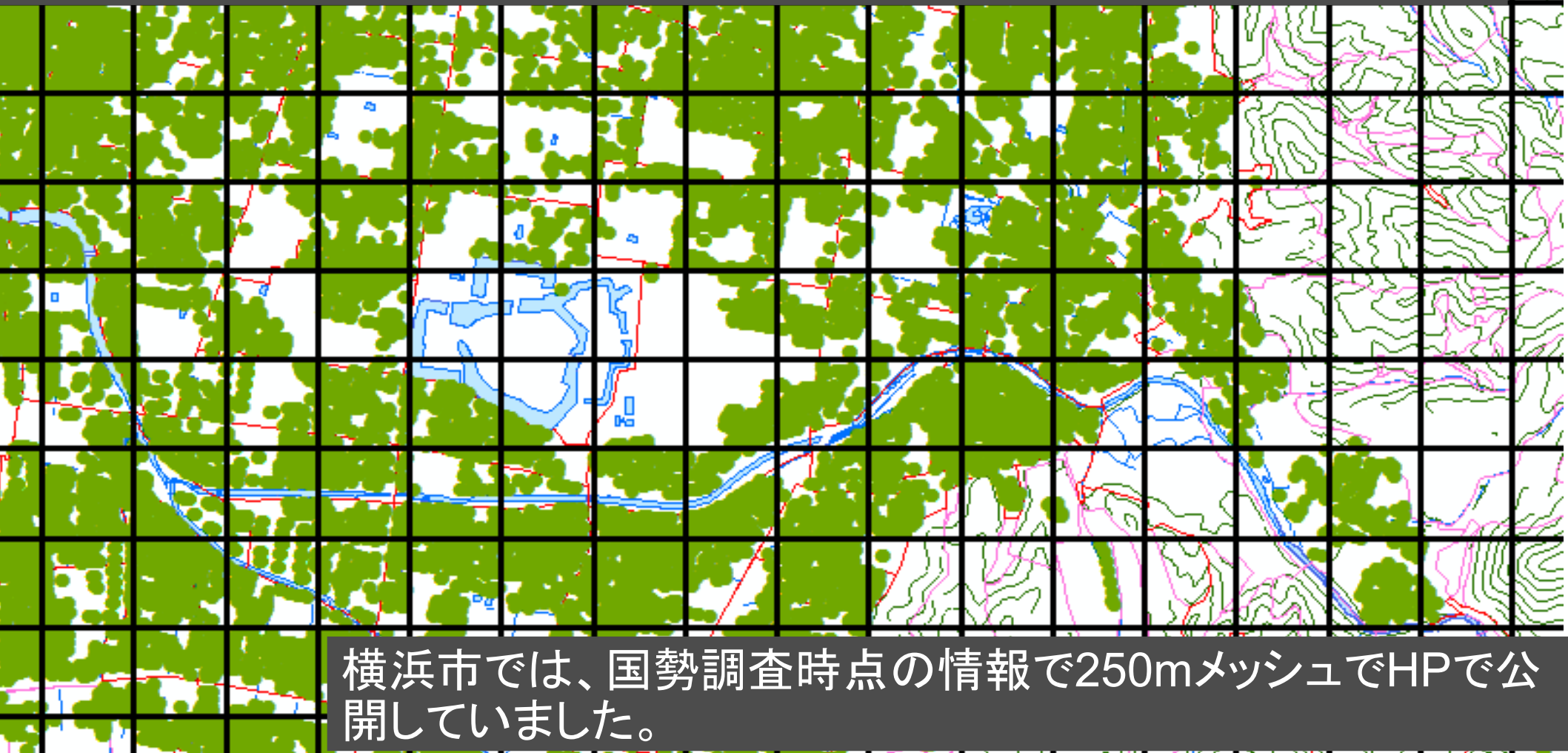


しかし、全国の自治体でも稀な、詳細な人口分布図などをオープンデータとして公開すれば・・・

例えば、出店計画などに活用できる多様なオープンデータが提供されている街としてモデルになるのでは??

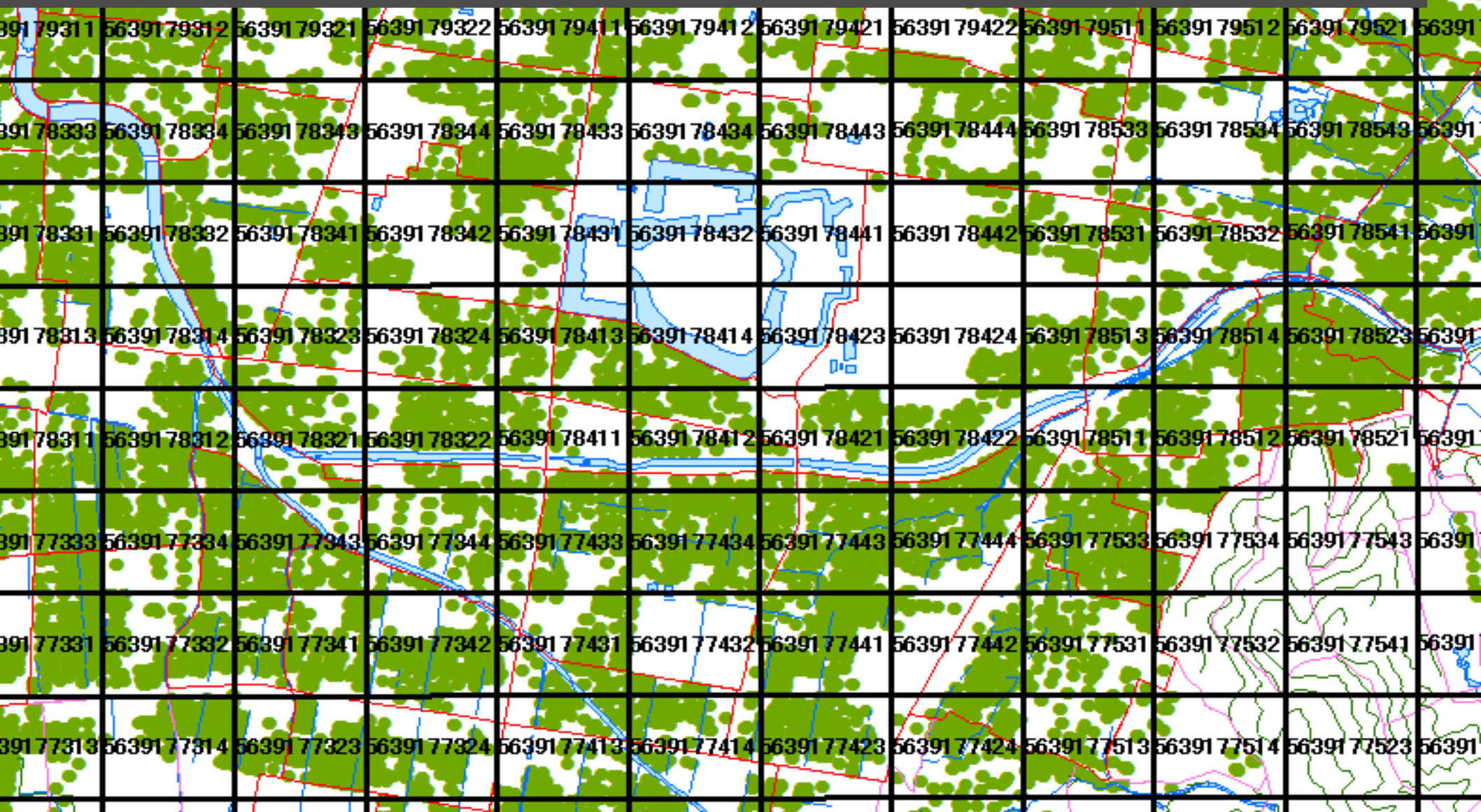
でも個人が特定されるのは、絶対にダメです。

- ①公開する方法として、総務省統計局e-statより、一辺250mの正方形の網(全国共通メッシュ番号)をダウンロードする。
- ②この一辺250mの正方形の網(メッシュ)の中に、人口が何人いるという表現の手法でやってみたらどうか。



メッシュを細かくしすぎると、ポイントと同様に個人の特定につながってしまう。

①公開する方法として、総務省統計局e-statより、一辺250mの正方形の網
(全国共通メッシュ番号)をダウンロード。



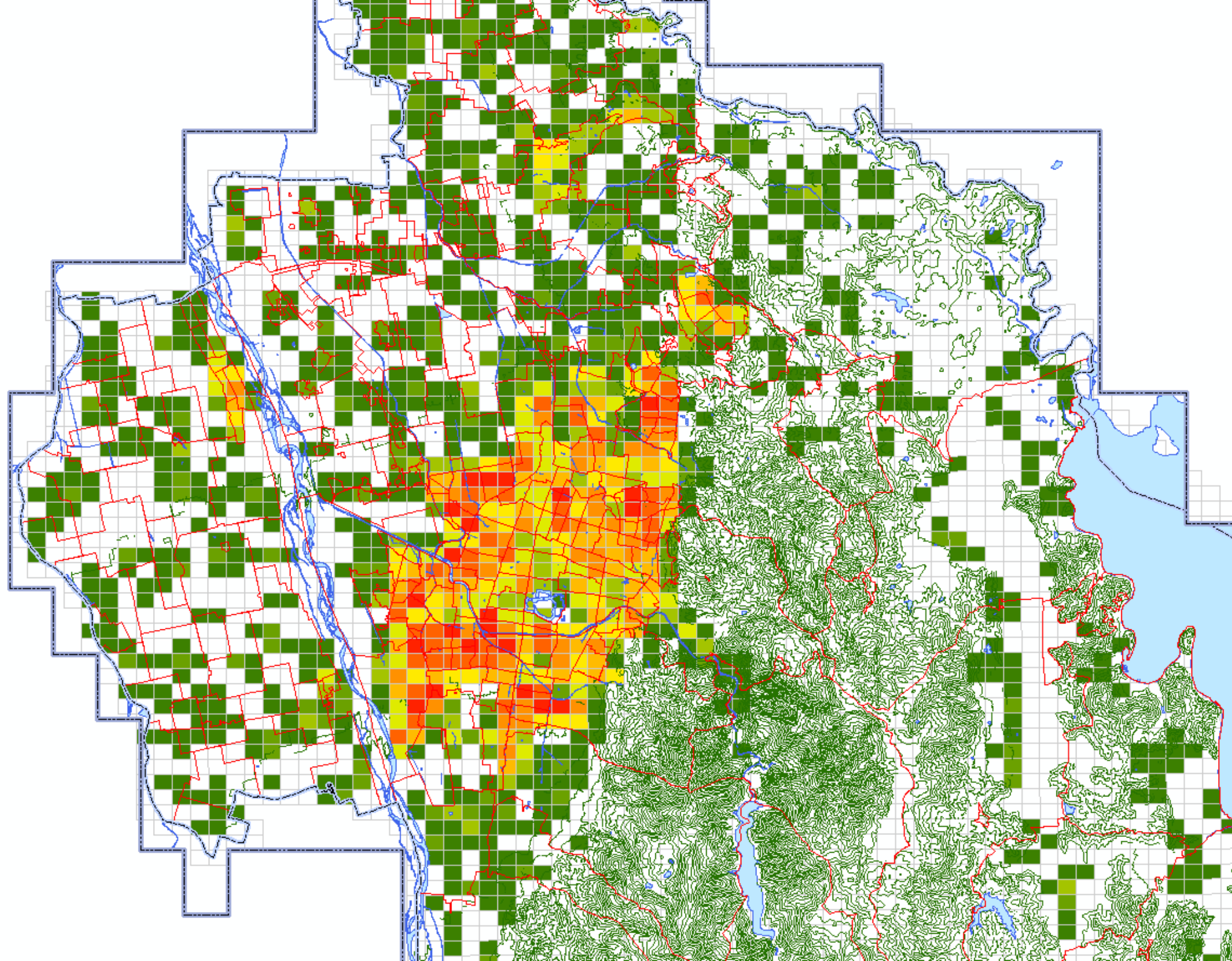
※会津若松市のみ抽出加工済み 全国共通メッシュ↓

<https://drive.google.com/drive/folders/0B8jzGRTXuDP6aHZsQjM2T2YxMWs>

②この一辺250mの正方形の網(メッシュ)の中に、年齢3区分それぞれに人口集計を行い、匿名加工(統計処理)をしております。

year	month	mesh_code	youth	working_age	aged
年	月	メッシュコード	15歳未満	15～64歳	65歳以上
2016	8	5639070321	3	21	20
2016	8	5639070314	0	0	3
2016	8	5639070323	0	3	3
2016	8	5639071342	0	3	3
2016	8	5639071344	0	6	12
2016	8	5639073222	0	3	3
2016	9	5639070321	3	21	20
2016	9	5639070314	0	0	3
2016	9	5639070323	0	3	3
2016	9	5639071342	0	3	3

※また個人が特定されることを防ぐため、メッシュ中の人口が「1」または「2」の場合、強制的に数値を「3」に変更しております。



このデータを会津若松市の
オープンデータカタログサイト
「DATA for CITIZEN」の
「年齢3区分人口メッシュ」
という名称にて公開※しております。

※2013年7月から直近のデータまであります。更新頻度、毎月。

DATA for CITIZENは 街を見える化したい、 毎日を便利にしたい、 そんな思いを実現します

データセットを検索

320件のデータ・セットから検索可能です

[ホーム](#) [データセット](#) [組織](#) [グループ](#) [お知らせ](#) [利用規約](#) [サイトについて](#) [お問い合わせ](#) [ビジュアライズ](#)

/ 組織 / 企画政策部情報統計課 / 年齢3区分人口メッシュ

年齢3区分人口メッシュ

 データセット  グループ  アクティビティストリーム

 組織



企画政策部情報統計課

この組織には説明がありません

年齢3区分人口メッシュ

住民基本台帳のデータをもとに、会津若松市内の250m四方のメッシュ（緯度・経度に基づいて地域をほぼ同じ大きさの網の目に分けたもの）中の人口を年齢3区分で算出しています。（2013年7月～）
本データは毎月1日時点のものを掲載しております。例えば「年」が「2013」、「月」が「7」となっているデータは、2013年7月1日時点の数値を表します。
また個人が特定されることを防ぐため、メッシュ中の人口が「1」または「2」の場合、強制的に数値を「3」に変更しております。

例えば、あるメッシュにおいて15歳未満人口、15～64歳人口、65歳以上人口がそれぞれ
0,7,1
であった場合、本データでは
0,7,3
と置き換えています。

東日本大震災から10年、 コロナ禍でのGIS 活用事例紹介

1. 東日本大震災の発生と導入背景
2. 活用事例の紹介
3. パーナルデータからオープンデータへ
4. 10年後、コロナ対応での活用

令和3年5月1日 会津若松市のみ緊急対策期間

＜速報＞福島県が会津若松市にコロナ緊急対策 飲食店に時短営業要請

5/1(土) 17:50 配信

13



福島民報

福島県は1日、会津若松市にある酒類などを提供する飲食店に対して、新型コロナウイルス特別措置法に基づく営業時間の短縮要請を決めた。期間は3日午後8時から17日午前5時まで。要請に応じた店舗には協力金として一日当たり2万5千円から7万5千円までを売上高に応じて支給する。会津若松市民に対しては3日から16日まで、不要不急の外出自粛を求める。

【関連記事】

[新型コロナ 福島県内の情報]

＜速報＞福島県が会津若松市にコロナ緊急対策 飲食店に時短営業要請

＜速報＞福島県内1人死亡 新型コロナ（1日発表）

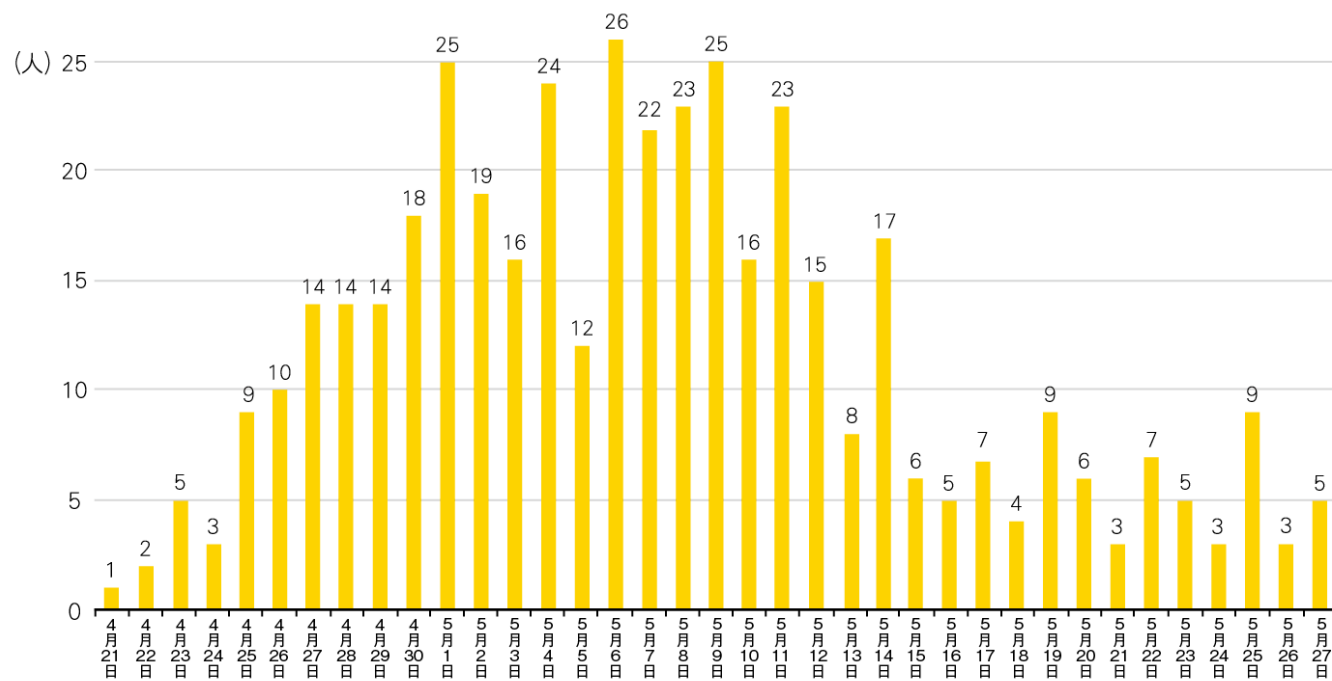
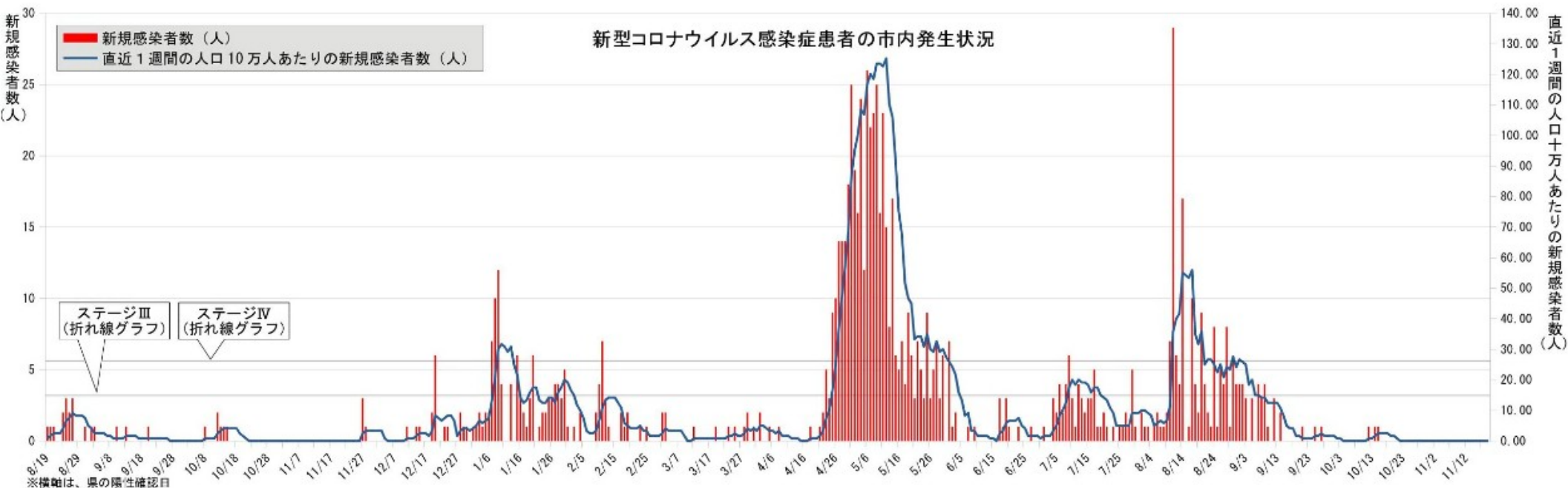
＜速報＞福島県内新たに33人感染 新型コロナ（1日発表）

若松市教委職員感染 市国際交流協会の職員も

最終更新: 5/1(土) 18:13

福島民報

令和3年5月1日 会津若松市のみ緊急対策期間



令和3年5月1日 会津若松市のみ緊急対策期間

会津若松市より大事なお知らせです

会津若松市 新型コロナウイルス感染症 集中対策実施中

◆期間：5月3日（月）から5月16日（日）まで◆
（今後の状況により、変更となる可能性があります）

■不要不急の外出自粛

特に、外出先でのアルコールを伴う会食の自粛の徹底をお願いします

■感染拡大地域※との 不要不急の往来自粛

※緊急事態宣言が発令された地域やまん延防止等重点措置が適用された地域

■接待を伴う飲食店、酒類を提供する飲食店に対する

午後8時から午前5時までの営業自粛

「うつさない」「うつらない」「ひろげない」
一人ひとりの対策が重要です！

緊急性の高い情報発信の課題

- コロナ対策の情報発信する内容、直前に変更！！



- 即時性の高いホームページやメール、SNSで発信



- 高齢者には、紙媒体が有効、どうしてもタイムラグ有



- 行政無線放送がない



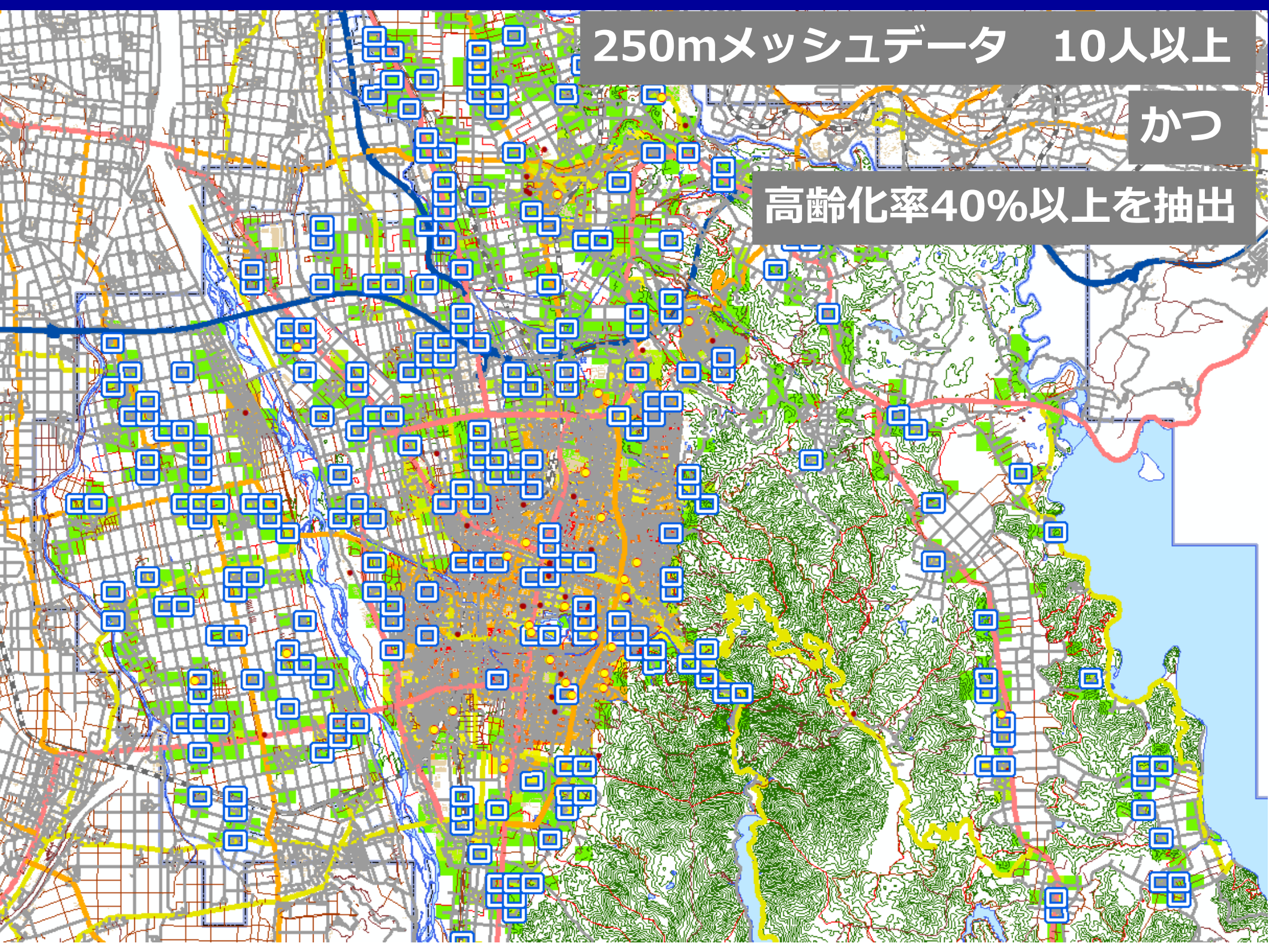
高齢者向けに
広報車による情報発信！！



250mメッシュデータ 10人以上

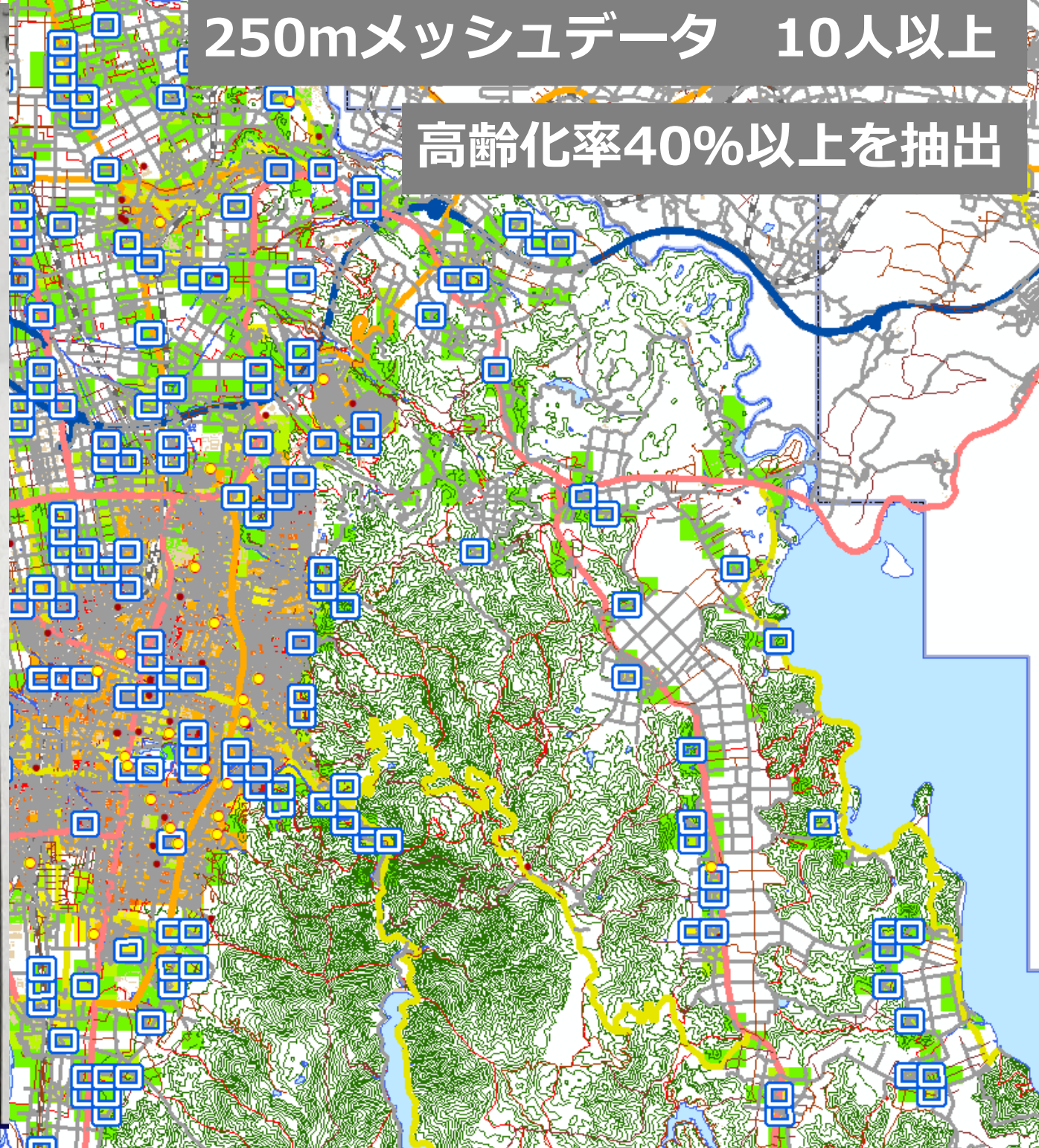
かつ

高齢化率40%以上を抽出



250mメッシュデータ 10人以上

高齢化率40%以上を抽出



広報車で外出
自粛呼び掛け

会津若松市

新型コロナウイルス
感染の急拡大を受け、
会津若松市は八日、市

内で広報車を走らせ、
市民に不要不急の外出
自粛などを呼び掛け
た。

午前九時から午後四
時まで、広報車三台で
市内の高齢者が多い地

区を回った。外でのア
ルコールを伴う会食自
粛の徹底、感染拡大地
域との不要不急の往来
自粛などを求めた。
九日も引き続き実施
する。

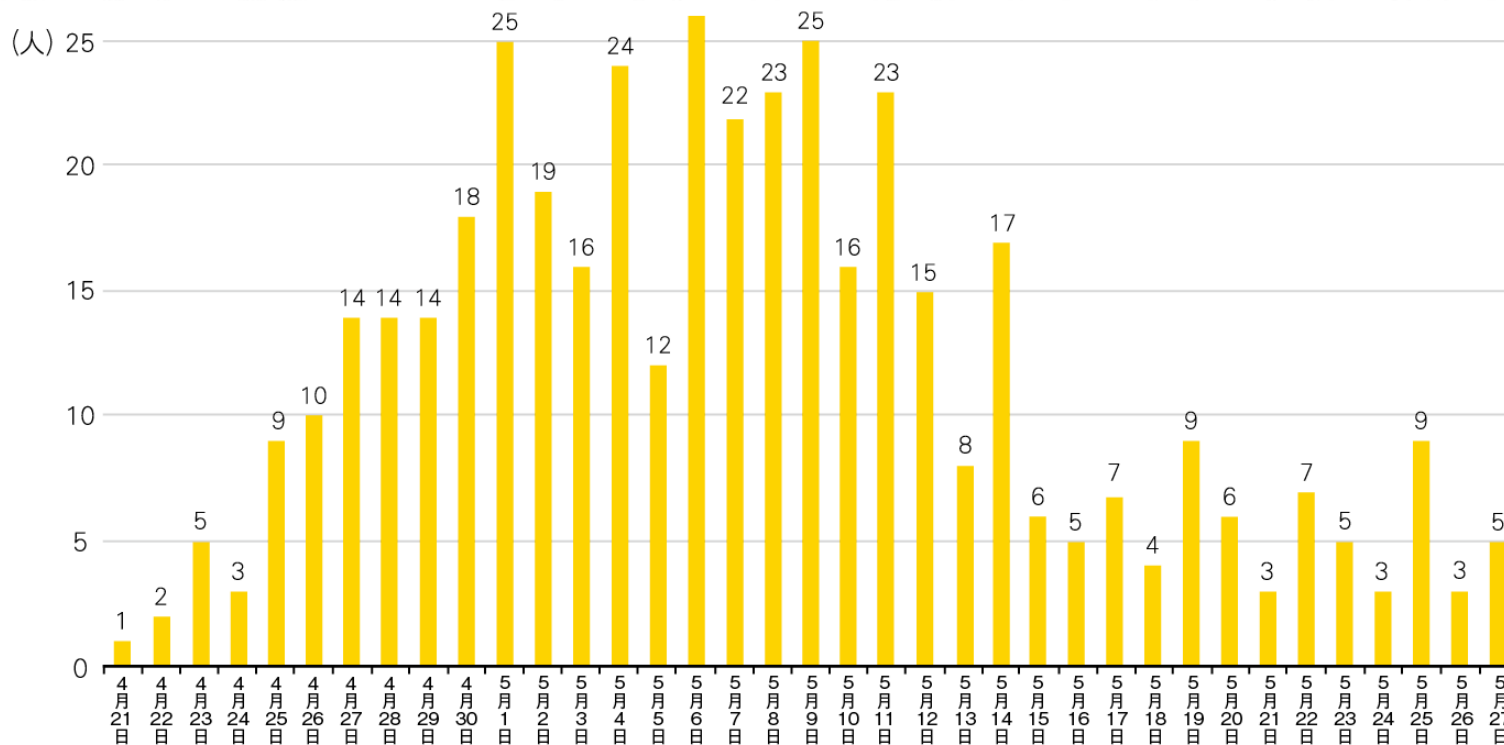
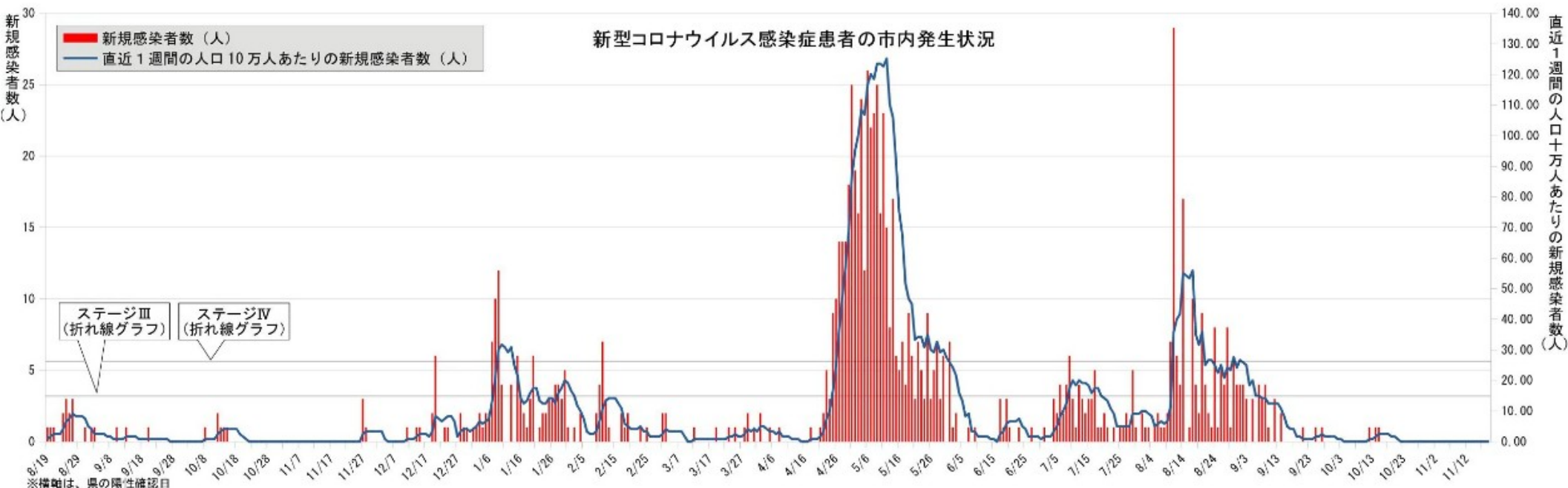
密を避けるために世帯
ごとに接種の日時を指
定して東雲館で実施し
ている。

県内24人退院

14人退所、10人解除

県内で新型コロナウイルス

令和3年5月10日 65歳以上のワクチン受付開始



令和3年5月10日 65歳以上のワクチン受付開始

新型コロナウイルスワクチン接種の
予約申込は**電話予約のみ**となつて
います。
市役所では予約できませんので、
ご了承ください。

予約専用ダイヤル
0120-050-503

生活サポート相談窓口

令和3年5月10日 65歳以上のワクチン受付開始

- 65歳以上の受付はコールセンターでの電話受付のみ



- 26人、26回線体制で対応したが、苦情が殺到！！



- 17日以降も繋がらない事象が継続的に発生

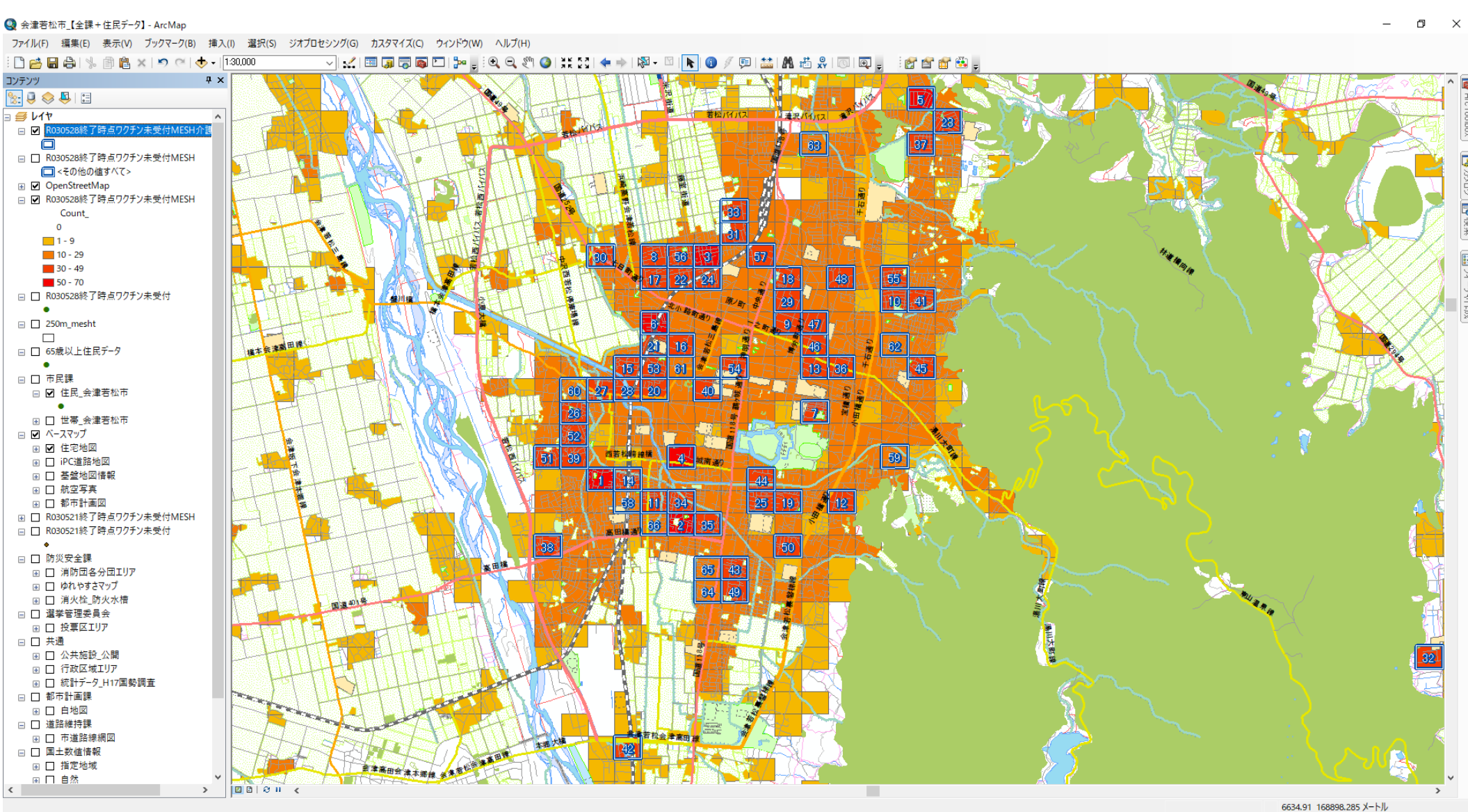


- 住民の方も、怒りモード→傷心モード(T-T)



広報車による予約補助サービス開始





会津若松全域図

全住民ポイント

65歳以上抽出

250mメッシュ

合計

オープンストリートマップ地図表示

優先順位付け（番号）

松若津市 高齢者向けワクチンで地域巡回 市職員が予約補助

高齢者向け新型コロナウイルスの電話予約を補助する。市職員が予約方法で、会津若松市は二十四日から二十八日まで、予約が完了していない高齢者が住む地域を広報車で回り、高齢者の受け付けを開始。二

十日までに接種対象者の約六割の予約が完了したが、市には「予約ができない」など不満の電話が多く寄せられている。市によると、電話の音声アナウンスによっては電話を切らずに待つとつながり、予約を完了できる。

広報車一台で、予約未完了者が多い地区から順に回る。市は「不明点があれば、広報車に声を掛けてほしい」と呼び掛けている。時間は午前九時から同十一時半までと午後一時半から同四時まで。二十四日は午後のみ。

高齢者コロナワクチン接種 市職員が予約を補助 会津若松 広報車で地区巡回



新型コロナウイルスの予約を補助する職員（右）

高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種で、会津若松市は二十四日、予約が完了していない高齢者が住む地域を広報車で回り、市職員が電話予約を補助する取り組みを始めた。二十八日まで。初日は市内城前地区を回った。職員が市民

新型コロナウイルス 県内感染者情報

▼西会津町訪問介護事業所で1人 事業所を運営する社会福祉法人に

あいつ福祉会は24日、同事業所で働くヘルパー1人が感染したとホームページで公表した。同日県が発表した感染者に含まれる。法人によると、ヘルパーは陽性となった介護老人保健施設「憩の森」

新型コロナウイルス ニュースファイル

国内

■都内感染者数速報取りやめ 東京都は二十四日、新型コロナウイルスの新規感染者数の情報提

の質問を丁寧に聞き取り、方法などを説明した。予約を済ませた女性（ハミ）は「電話がな

がらず予約を諦めかけていた。やり方を聞いてよかったと話した。市によると、電話の

不当な贈与要求をやめ



二千六百二十一人で増加した。

50n

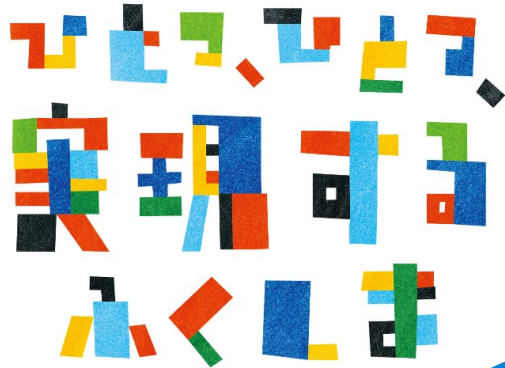
- 会津若松市_【全
- ファイル(F) 編集
- コンテツツ
- レイヤ
- R030528
- R030528
- OpenStre
- R030528
- Count
- 0
- 1 - 9
- 10 - 25
- 30 - 45
- 50 - 70
- R030528
- 250m_m
- 65歳以上
- 市民課
- 住民
- 世界
- バスマッ
- 住宅
- iPC道
- 基盤
- 航空
- 都市
- R030521
- R030521
- 防災安全
- 消防
- ゆれや
- 消防
- 選挙管理
- 投票
- 共通
- 公共
- 行政
- 統計
- 都市計画
- 白地
- 道路維持
- 市道
- 国土数値
- 指定
- 自然

ンター
がない場合)
7747
※24時間対応
生活など全般)
7177
午前8時30分
午後9時

まとめ

- 庁内
 - パーソナルデータ
 - GIS検討チーム全員でアイデアを出し
 - その場で解決！！→**楽しみながら**
 - GISだと見た目でわかる！！
 - 業務改革→職員の「意識改革」
- 庁外
 - パーソナルデータ→オープンデータ
 - 新しい付加価値が生まれ、経済活動も活発に？
 - シビックプライドの醸成
 - まちを知ってもらう。新しい発見もある！！
 - **会津LOVE→会津に来る、住む、残る**

ありがとうございました！！



ご不明な点、ございましたら、連絡頂ければと思います。

福島県会津若松市役所

企画政策部秘書広聴課

兼 新型コロナウイルス感染症対策室

伊藤文徳

TEL 0242-39-1206

bun@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

